

プレゼンテーションの場で iPadは大活躍しています

iPadの使い道を考える

自身のブログ「六本木で働いていた元社長のアメブロ」でも、iPadの使用感を率直に述べてきた堀江氏。iPadは使えば使うほど味が出る、出張時も、iPhone + iPadがあれば十分に語る堀江氏にうかがった。

Profile●堀江貴文

1972年生まれ。福岡県出身。SNS株式会社ファウンダー、株式会社ライブドア（現株式会社LDH）元代表取締役社長CEO。ホリエモンの愛称で知られる。著書に、『拜金』（徳間書店）『まな板の上の鯉、正論を吐く』（小社）などがある。



ロケット開発に「Keynote」と「Numbers」を活用

堀江さんが使っているiPadは3G対応モデルですが、バッテリー製でNTTドコモのFOMAカードを入れて使うモバイルWi-Fiルーターも併用していますね。

堀江 車や新幹線で移動していることが多いので、電波が届かないことがあります。そういう場面では、やはりWi-Fiルーターが必要です。実際にWi-Fi通信を使っていることの方が多くて、3G回線を使っているのは、都内にいるときくらいかな。贅沢な使い方に思われるかもしれませんが、便利さを考えればそんなコストはすぐに回収できます。ルーターの利用にかかる月額6000円程度の料金は、僕にとって誤差の範囲だと思います。

堀江さんは、主にどんな場面でiPadを使っていますか？

堀江 プレゼンテーションの場で使うことが多いですね。よく使っているソフトは、Macのプレゼンツール「Keynote」。アップル社のスティーヴ・ジョブスCEO自身がプレゼンテーションのために開発したもので、iPad対応のアプリもあるんです。スライドを作るのも簡単で、何より視覚効果——人に訴えかける力がスゴイから、前職のときから株主総会などで使っていました。サクサク動いてインパクトがある。ハッキリ言って、もう「PowerPoint」の時代じゃないと思いますよ。



上部はロケットエンジンの実験映像。下部はSNS株式会社の事業計画を「Keynote」で示したものを

iPad版では機能が多少制限されますが、プロジェクト一つ一つでそのまま使えるのがいいですね。プロジェクトの画面とiPadの画面が別になっていて、iPadの画面には次のスライドやタイマーを表示させておくことができるのも便利。タッチパネルを活かした直感的な操作性も気に入っています。

僕自身、いまはロケット開発に注力しているので、宇宙関連団体でのプレゼンでも使っています。その関連で言えば、iPadを持ち歩いて、ロケットの実験映像を見せることもあります。映像に関しては、画質が良く、出力が速いのも大きなメリット。

また、ロケットエンジンの実験では、iPadの表計算アプリ「Numbers」で手順書を作り、それをチェックシート代わりにしています。こういうときは、タッチ操作が便利ですね。仕事では、自分のバイオグラフィックというか、経歴書代わりに使うこともあります。いちいち紙で持ち歩くのは、邪魔だし非効率。iPhoneでは画面が小さいので、iPadを使うのがちょうどいいんです。

iPadとiPhoneの使い分け

——プライベートでは、どんな使い方を？

堀江 僕自身というよりも、周りの人の使い方の方が良いなと思ったのは、写真のビューワーとしての利用ですね。デジタルで撮っ

た写真などは本当にキレイに見られるし、パソコンで人に見せるときのように、相手が構えてしまうこともないので、優れモノだと思います。仲間と旅行に行ったあと、改めて集まって飲み会をするときに、iPadがあるとかなりイイ感じですね。写真を撮りながら見て、盛り上がるのができます。

いまのところ、プライベートで使うことを考えると、それくらいかな。普段は、iPhone4を使うことの方が多いです。TwitterもiPhoneで打っています。

ビジネスで考えても、外で原稿を書くときはiPhoneがメイン。外部キーボードを使うときもありますけど、フリック入力でもそれほど変わらない速度で書くことができますし、少なくともiPadの仮想キーボードよりはずっと速い。PDFで記事や資料をチェックするときも、iPhoneですね。画面は小さいけれど、拡大すれば十分読めますから。

——現状では、iPhoneで事足りてしまう場面も多いと。

堀江 そうですね。とはいえ、iPadにとくに大きな不満があるわけではないんですよ。重量やサイズを問題にする人がいて、確かにiPhoneよりはかさばりますけど、ノートパソコンよりも軽くて小さいのだから十分。邪魔になったり、必ずしも持つて行く必要のない場面には、持つて行かなければいけないの話です。個人的にはiPhoneより一回り大きいぐらいのサイズ感がベストだとは思いますが、現状の大きさでも問題はありません。



「Numbers」でつくったロケットエンジン実験の手順書

iPadはノートパソコンに比べたらロスペックですが、映像のブラウジングが快適なのは小さくないメリットです。要は使い道ですね。

——電子書籍リーダーとしての機能にも注目が集まっています
が、堀江さんはiPadで本を読むことはありますか？

堀江 画面上で雑誌記事を読むことができます「ビューン」を使っています。出先で自分の記事をチェックしたい時くらいかな。まずは、読める本の種類がもっと増えてくれないと、どうにもならないというか。

もっとも、僕がiPadで読みたいのは、文字よりも絵がメインのもの——つまり、小説や雑誌よりも、圧倒的にマンガです。今後のマンガは、すべてiPadで配信してほしいくらい。



マンガはいまや全世代が読むものになっていて、読者層もジャンルも複雑化しているから、自分に合った作品を探すのに困りますよね。雑誌ベースで魅力的な新人を探すのも難しいから、すべての作品が電子化されて、レコメンドサイトのようなメディアが充実したらいいのに、とも思います。

いずれにしても、まだ目ぼしいコンテンツがないので、iPadはウェブブラウジングで活躍する機会が多いと思います。

iPadを職場に導入するのは合理的

——企業が組織単位でiPadを導入するケースも増えていますが、こちらについてはどうお考えですか？

堀江 要は手軽に使えて、しかも安いパソコンですから、どんな業種でもOKですよ。いまはパソコンがないと仕事にならない時代だし、一般的な仕事で使うアプリケーションと言え



右上) TwitterはiPhone4でほぼ書いている
右下) バッファロー社のモバイルWi-Fiフィルター
上) ドックとキーボードが一体化したiPad Keyboard Dock





ば、メーカーやワード、エクセル、パワーポイントくらいのも
の。iPadでも十分に対応できるとも考えられます。会議に
もそのまま持ち込めるし、余計なことができない分、むしろパ
ソコンよりもいいかもしれない（笑）。

教育の分野でも、教科書をすべてiPadに入れてしまえば
便利です。アメリカでは医療現場でも使われているそうです
が、「こんな場所で使うべきだ、使うべきでない」なんてこと
はなくて、どんな分野でも「画像・映像処理が速い小型パソ
コン」として、便利に使えばいいと思います。

——今後のビジネスにおいて、iPadで活用すべきなのは、
「クラウド3種の神器」（Dropbox、GoodReader、
Evernote）だとも語られています。iPadの開発は、ネット
ワーク上で情報を処理できるクラウドコンピューティングを

前提としていたのでしょうか？

堀江 もちろんそうでしょうね。クラウドのポイントは、ロー
カルの機能をいかにカンファタブルに制限するか、ということ
です。例えば、パソコンのウイルス対策を端末ごとに行ってい
たら、大きな企業ではそれだけでバカにならないコストになり
ます。クラウドが前提になっていて、さらに作業にストレスも
感じないiPadを職場に導入するのは合理的だと思います。

家庭用のパソコンは、iPadでも十分

——今後は家庭で使うユーザーも増えていくと考えられます
が、iPadはライフスタイルをどう変えていくと思いますか？

堀江 例えば、iPadはスイッチ一発で瞬時に起動して、トッ
プ画面からワンタッチで、楽天市場に飛ぶことができる。そう
して、ネットショッピングをする。これはノートパソコンで行
うネットショッピングとは違って、本物のショッピングに近い
と思いませんか？ つまり、わざわざネットにつなぐ設定もし
なくていいし、ストレスフリーでカタログを開いているような
感覚です。これなら、インターネットやパソコンに疎い人でも、
比較的スムーズにネットショッピングができるでしょう。

エンターテイメントの分野もそうで、いまのところ
iTunesに日本のコンテンツは少ないものの、音楽やビデ
オをすぐにダウンロードして、場所を選ばずに楽しむことがで

プレゼンテーションの場でiPadは大活躍しています

iPadの使い道を考える

きます。今後はテレビドラマなんかも、有料配信されるといいですね。

僕は家ではパソコンを使う生活に慣れていているから、あえて家でiPadを使うことはなくて、補助的に使う程度。しかし、パソコンに比べてウェブブラウジングも簡単だし、iPadが普及することで、これまでパソコンをあまり活用していなかった人の生活が、大きく変わる可能性があると思います。

家でパソコンを使っている、「文字入力をするのはメールを打つことくらい」という人も多いでしょうし、メールだって多くはケータイで済んでしまう。僕は、ほとんどの人にとって家庭用のパソコンは、iPadで十分だと思っています。パソコンを買うなら、iPadを買うように勧めたいですね。

——今後、競合各社もタブレット型端末を続々リリースするところが考えられますが、市場動向はどうご覧になっていますか？

堀江 もちろん、各社とも研究を重ねてキヤッチアップしてくるでしょうし、タブレット型端末の市場は拡大していくでしょう。

iPadはアップル社の各サービスと連携したエコシステムを前提としているから、より多くのサービスにオープンな他社の製品の方がいいのではないかと、という意見もあります。しかし、関連性のないサービスを一つひとつ取捨選択するのも面倒ですし、オープンであることにも、利便性の上でメリット・デメリットがあります。

僕はガジェットオタクではないので、各社の製品を細かく比較する気はありません。つまり、自分にとって一番便利な端末を使うだけ。iPadよりも明らかに優れた端末が出てこない限り、iPadを使い続けると思っています。

——最後に、iPadを買ってみたものの、あまり使いこなせていない……という人に向けて、メッセージをお願いします。

堀江 まずはデジカメで撮った写真をiPadに移して、ビューワーとして使ってみてください。まず間違いない「このクオリティなら、プリンタは要らないな」と思うはずですよ。年配の方も写真は撮るでしょうし、誰でもiPadの機能を実感して、感動できると思いますよ。使い方に決まらなかなんだから、それぞれに便利な使い方を探すのが正解。あのステイヴ・ジョブスのこと、黙っていてもiPadを使った新サービスを続々リリースしてくるでしょうから、今後にも期待しましょう。(構成: Blueprint)

